コムギに関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1．世界の穀類の生産量においてコムギは，トウモロコシ，オオムギ，イネに次いで生産量が多く，コムギの最大の生産国はアメリカ合衆国である。
2．コムギのうち，世界で最も生産量が多いパンコムギは同質四倍体であり，次いで生産量が多いデュラムコムギは異質六倍体である。
3．パンコムギの穂には約15～20の節があり，各節に1個の小穂がつき，各小穂には複数の小花がつく。
4．パンコムギは，一つの個体内で最初の穂が出穂してから全ての穂が出穂するまでに約1か月かかる。
5．秋播き性の強いパンコムギの品種を春に播種すると，生育期間が顕著に短くなり，出穂するものの穂は小さい。

（正答　3）

次の記述ア～エのうちには植物病害の説明が妥当なものが二つある。それらはどれか。

ア．イネ紋枯病――葉が黄化し，白色の斑点がしま状に入る。葉身は短くなり，株全体が萎縮する。
イ．ジャガイモ疫病――葉に褐色の病斑を生じ，激しいときには圃場全体の葉が熱湯をかけたように腐敗し，枯れ上がる。
ウ．ナス科植物青枯病――病原体が道管部を侵し，初め，先端部の葉が萎凋し，やがて株全体が急速に萎凋して枯死する。
エ．カンキツかいよう病――葉が黄化して小型化する。果実は成熟が進まず，部分的に緑色が残る。進行すると樹が枯死する。

1．ア，イ
2．ア，ウ
3．ア，エ
4．イ，ウ
5．イ，エ

（正答　4）